



災害にそなえて

九州合同防災訓練に参加してきました

令和元年10月9日、10日に鹿児島市で開催された「第7回 日本水道協会九州地方支部合同防災訓練」に那覇市上下水道局も参加してきました。

この訓練は、九州地方で災害が起きたときに各都市が迅速かつ連携して被災地支援に取り組めるよう、九州各県の水道局職員が一堂に集い、毎年開催されているものです。今回は鹿児島市の平川浄水場を中心に応急給水訓練と応急復旧訓練が行われ、九州全土から38の水道事業体、約120名が参加しました。

実際の災害を想定した訓練は緊張感に包まれ、参加した各都市は災害対応の過酷さや訓練の重要性を改めて認識すると共に、更なる連携強化の必要性を確認しました。

上下水道局では、災害時においても市民の皆さまに安全安心な水をお届けできるよう、引き続き防災体制の強化に努めてまいります。



令和元年度 沖縄県企業局総合訓練(応急給水)

上下水道局では、昨年度より沖縄県企業局と体制強化を目的とした「受水事業体と連携した情報伝達訓練及び応急給水訓練」を行っており、今年度も11月13日(水)に実施しました。この総合訓練は水道災害相互応援協定に係る訓練で、今回は、応急給水基地の伊覇調整池(八重瀬町)へ給水車3台を派遣し、小禄金城公園を応急給水所とした訓練を行いました。



水質検査を行います

伊覇調整池での給水の様子

小禄金城公園での様子



上下水道局のとりくみ



令和元年度 那覇市上下水道局防災訓練



災害時の初動体制の確立と危機管理意識の向上を図るため、令和元年7月27日(土)、上下水道局職員を対象に、本市で強い地震が発生したことを想定した防災訓練を実施しました。今回は災害時応援協定を結んでいる3団体が参加し、一緒に訓練を行いました。

上下水道局庁舎では、災害発生から24時間が経過した場合と72時間後の場合を想定し、対策本部の設置運営や応援要請、応急計画の策定などを行いました。

また、新都心公園などでは、「緊急貯水槽」を使用した給水訓練や「マンホールトイレ」の設置訓練などが行われました。

真夏の暑い中での訓練となり、予定よりも時間が繰り上がるなどの事態にも対応しながら、職員皆がそれぞれの役割を再認識し、スキルアップを図ることのできた訓練となりました。



緊急貯水槽の開栓作業訓練



給水車を用いた給水訓練の様子



マンホールトイレ

簡単！非常時用トイレの作り方

大きな災害が発生した場合、宅内排水管や公共下水道施設などが機能しなくなり、普段使用している水洗トイレが使えなくなる可能性があります。そのような場合に備えるため、手作り簡易トイレの作り方を紹介します。

1. 用意するもの



- 段ボール板 (以下: 板)
- 段ボール箱 (以下: 箱)
- ゴミ袋・はさみ・カッター

2. 箱の加工



- 箱のミミを内側に折り込みます。

3. 板の加工



- 板に輪郭をかき入れます。
- 4隅に切り込みを入れ、内側に折り込みます。

4. 土台の製作①



- 板の中央部を切りとります。
- 切り取り後の板を箱にはめ込みます。

5. 土台の製作②



- 土台の完成です。

6. トイレの製作①



- 完成した土台にゴミ袋をかぶせます。

7. トイレの製作②



- ゴミ袋をかぶせた土台の中に新聞紙などを入れます。

8. トイレの製作③



- 切り取った板を裏返し、蓋として使用します。
- 簡易トイレの完成です。

「簡易トイレ」は、インターネット上で様々なサンプル事例が紹介されておりますので、ご確認ください。

【お問い合わせ】 下水道課 TEL: 941-7808